

研究課題名 女子学生における低用量経口避妊薬の知識と低用量経口避妊薬に対する抵抗感との関連に関する情報公開

1. 研究の対象

名古屋大学内で活動している部活動およびサークル活動をしている女子学生 100 名程度

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的: 女子学生における低用量経口避妊薬の知識と低用量経口避妊薬に対する抵抗感の関連を明らかにすることを目的とします。

研究方法: 倫理的配慮として、研究者が、質問票調査前に、対象者に研究への参加は自由であり、拒否した場合でも不利益を被ることがないこと、無記名自記式質問票を用いるため、個人情報の取得はなく、匿名の調査となる為個人の結果が明らかにならないこと、答えたくない質問には答えなくても良いことを説明します。また、質問票調査により得られた情報は、その目的のみに使用し、研究者と研究責任者のみが取扱います。名古屋大学医学部保健学科大幸キャンパス内の研究室に設置されている鍵のかかるロッカーで研究責任者が厳重に保管する。研究終了後、電子データは10年間保存をし、紙媒体はシュレッダーにて破棄することを口頭及び文書で説明します。

対象者は、自己式の質問紙に回答することで、15分程度の拘束時間が生じる不利益が考えられます。また、アンケート回答中に、月経状況や低用量経口避妊薬の副反応や産婦人科の受診の有無に触れるため、回答中の参加者の皆様に不快感や精神的苦痛をもたらす可能性があります。もし、参加者の皆様にとって不快感や精神的苦痛を与える質問や答えたくない質問があるならば、無理に質問に答えなくても良いことを説明します。また、研究への参加は自由であり、拒否があったため同意撤回となった場合でも不利益を破ることがないことを補償します。

研究者はあらかじめ、対象が所属する大学の部活動やサークル活動の部長に研究の内容・目的を説明します。また、対象が所属する大学の部活動やサークル活動の部長から、研究対象者に対してアンケート協力の声かけや説明の機会や google form の回答用ページに続く URL を共有するために送信できるオンライン上の場の提供をしていただけるように依頼します。研究者が実際に声かけや説明を行う際、研究者本人が協力を得ることができた部活動およびサークル活動の活動前または活動後、活動場所に訪問します。そして、活動前または活動後の空き時間に直接、研究者は、研究対象者に口頭および文書にて研究目的、調査方法、質問内容などの調査に関する説明を行います。その後、google form についての説明をし、その提供していただいたオンライン上の場で URL を送信して共有させていただきます。送

信後、送信して共有した google form に約 1 週間以内を目安に回答してもらいます。また、研究者が回答集計状況を確認するとともに、3 週間後には google form 上の機能である「回答の収集を停止する」を利用して、google form で作成したフォームを開き、「回答」をクリック後、「回答受付中」をオンからオフに切り替えて、フォームの回答受付を停止し、終了させます。

回答所要時間は 15 分程度です。回収されたデータは、統計処理ソフトを用いて処理し、パーセンテージで示します。分析した内容は表・グラフにて示します。

インフォームド・コンセントとして、対象者には研究者から説明書及び口頭で研究目的・調査方法・倫理的配慮について説明を行い、質問票に同意のチェックとその質問票の回収をもって同意を得たものとします。

18 歳以上の未成年の女子学生も大乗とされているますので、保健学のホームページで情報公開文書を公開し、対象の女子学生とその保護者から拒否がある場合は、同意撤回ができるように対処します。

研究期間：生命倫理審査委員会保健学臨床・疫学研究審査委員会承認後～令和 4 年 3 月 31 日とします。（調査実施期間：生命倫理審査委員会保健学臨床・疫学研究審査委員会承認後～令和 3 年 10 月 31 日）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

無記名自記式質問票を用いて、下記の内容を収集します。

社会的属性に関する質問 3 項目（年齢、学年、学部、文化部・運動部の所属の有無）、月経の有無、月経基礎状況に関する質問 3 項目（月経周期、月経周期の規則性、経血量）、月経随伴症状とその程度に関する質問 19 項目、月経前・月経時に市販の鎮痛剤服用の程度、産婦人科の受診の有無に関する質問については対象者の特徴を理解するためにお聞きします。

低用量経口避妊薬の知識に関する 1 項目（低用量経口避妊薬を知っているか）、低用量経口避妊薬の内服に関する 1 項目（過去も含めて現在までに低用量経口避妊薬を内服したことがあるか）、低用量経口避妊薬の抵抗感に関する 2 項目（低用量経口避妊薬の使用に抵抗を感じるか、低用量経口避妊薬に抵抗感を感じるのはなぜか）、低用量経口避妊薬の効能・効用に関する 11 項目、低用量経口避妊薬の副反応に関する 10 項目については、女子学生における女子学生における低用量経口避妊薬の知識と低用量経口避妊薬に対する抵抗感との関連を明らかにするためにお聞きします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究への問い合わせ先

研究責任者 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 発達看護学講座

教授 入山 茂美

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

TEL/FAX 052-719-1547

メールアドレス iriyama@met.nagoya-u.ac.jp

研究担当者 名古屋大学医学部保健学科看護学専攻

4年 林 真生

【苦情の申し出先】 名古屋大学医学部保健学科 総務係 TEL:052-719-1504